



学校だより



7月号 県立藤沢養護学校 平成28年 7月 1日

絵:小学部4年

梅雨空が続き、夏本番を期待する今日この頃です。

中学部では、遠足。高等部では、修学旅行が無事終わりました。夏休みまであと少し、1学期のまとめのため一日一日を大切にしたいですね。

中学部 春の遠足

中学部3年担任 福永 翔也

前々日からの雨が心配されたなかでしたが、天気は無事回復し、中学部の遠足を行うことができました。目的地は大庭城址公園！！往きはスクールバスで向かい、帰りは善行団地を休憩地点として学校まで歩きました。

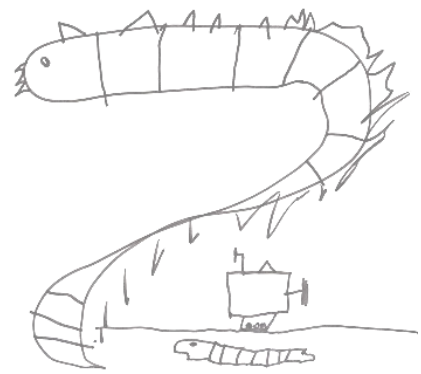
大庭城址公園では、大きな広場を使って楽しく「じゃんけん列車」や「お誕生月ダンス」のレクを行い、みんな笑顔で楽しんでいました。「お誕生月ダンス」では、自分の誕生日のときにみんなの輪のなかに出て自由に踊り、輪のみんなで手拍子をして盛り上げます。それぞれのダンスを披露するときには、みんながとても輝いていましたね。

レクの後は楽しみなお弁当タイム！！クラス毎に集まり、みんなと楽しく食べたり、自然に囲まれて、芝生の上で食べたり、より一層お弁当がおいしかったのではないのでしょうか。

そして、たくさん遊んだ後は、帰り道！！最初はみんな笑顔で出発しましたが、休憩地点では、疲れた表情の生徒も見られました。それでも、最後までみんなで力を合わせて歩いていましたね。

今年度、初めての中学部の行事。学年、クラスを越えて楽しく交流することができました。今回の交流を生かし、学校内での交流も盛んになるといいですね。





絵：小学部4年

リレーコラム

『カヤックと私』

高等部2年久保寺和義

小さい頃から山を遊び場にしていましたが、今はカヤックで海に出るのが唯一の楽しみなんです。青い海の上を漂っているときの気持ちよさは、言葉で言い尽くせないものがあるのですが、当然危険もついてまわり、溺れかけたことや風に流され辛い目に遭ったことは幾度もあります（これからもきっとあるでしょう）。カヤッキングの好条件は、天気が良くて風もなくてウネリもないのが一番。しかし、相手が自然だけに予想が付きません。進むには自分で漕がなければならないし、その時々に応じて考え判断し決断していく……。すべては自分次第。自分の考え方ひとつで先に見えるものが違います。

時々ボランティアで子供たちと一緒に海に出ることがありますが、想定外の事は数知れず。子供たちはそんなときこそ逞しく自分で考え対処しようとする力（時には仲間）が育ちますね。まさに「自然は生きる力を育てる生きた教育の場」であることをもっと広めていきたいですね。

ふじよん！

4コマまんがコーナー

(タイトル：一発キャグ)



作：高等部3年

高等部 3 年 北海道修学旅行

高等部 3 年 3 組担任 永井亜依

1 年生の冬に修学旅行は北海道だよと発表し、2 年生の後半から各クラスでの調べ学習をスタートしました。北海道の食べ物や文化、自然、交通、人気のお土産などをクラスごとにまとめました。学年全体での発表では、それぞれが調べたことをクイズにしたり、大きな地図で説明したりとどのクラスも一生懸命発表し、盛り上がりました。3 年生になってからは、函館の自由行動や 2 日目のレクリエーションの出し物について各クラスで話し合いをしたり、練習をしたりしていよいよ修学旅行！と期待が高まってきました。飛行機に乗ったことがない生徒も多かったため、全体の事前学習ではキャビンアテンダントが登場して、チケットのかざし方や飲み物の注文の仕方、荷物などについての注意点を確認しました。みんな初めての飛行機に不安と期待が入り混じった表情で真剣に聞いていました。

修学旅行当日、飛行機の離陸と同時に歓声が上がりました。窓から見える美しい景色に見入ったり、揺れにそなえて座席をしっかりと握っていたりと様々な反応のみんなを乗せて北海道に飛び立ちました。函館市内観光では、おいしい海鮮丼を食べ、クラスごとに自由行動を楽しみました。お土産を選んだり、歴史ある建造物を見学したり、アイヌ文様の切り絵をしたりと事前の計画をもとに活動していましたが、一番人気は函館のご当地バーガー屋さん「ラッキーピエロ」だったようです。

二日目は有珠山・昭和新山の壮大な自然を前に記念撮影をしたり、くまにえさをあげたりしました。ジェラート作りでは、友達と協力して腕が筋肉痛になるくらい一生懸命かきまぜている姿が印象的でした。夜のお楽しみ会では、分教室も含めてそれぞれのクラスが練習の成果を発揮して、楽しいパフォーマンスを繰り広げ、予定時間を延長しての大盛り上がりで幕を閉じました。

高等部 3 年生、鎌倉分教室 3 年生全員参加で臨んだ楽しい思い出を胸に、今は実習を頑張っています。



絵：小学部 4 年



絵：小学部4年

進路に向けた見学のポイント

進路支援担当 菅野一広

今年の夏休みはどう過ごそうか計画している頃かと思います。この機会に是非、施設見学はいかがでしょうか。実際に事業所の様子を見たり、話を聞いたりして確かめ、高等部卒業後の進路先をイメージしたお子さんにあいそうな事業所選びを行うことが大切です。そこで見学の際に見ていただきたいポイントをお知らせします。

ポイント①【活動の様子】

事業所によってさまざまな内容の活動を行っています。例えば「どんな活動内容（作業、余暇）なのか」「どんなペース、スケジュールでやっているのか」「どんな支援を受けることができるか」を見て、「お子さんに合った活動内容か」「支援の仕方はどうか」など考えてみてください。

ポイント②【事業所内の環境や雰囲気】

「賑やかなところ」「静かなところ」「忙しいところ」「ゆったりペースのところ」など事業所によって環境がそれぞれに違います。また利用者やスタッフの方の雰囲気も直に感じることができます。実際にお子さんがそこで活動するのに適した環境かを見てください。

ポイント③【お子さんの様子】

「お子さんがどう感じたか」「やってみたい、通ってみたいと思ったのか」という点も進路先を選ぶポイントになります。高等部の方はぜひ親子で見学に行ってください。小中学部の方は、まずは保護者だけで構いませんので、今のうちからいろいろな施設に見学をしてみてください。

***進路ハンドブックブックの事業所一覧を参考にしてください。**

(ただし☆印がついている福祉作業所と特例子会社は、個人での見学はできません。また、今年度開所の「モンド湘南藤沢」「すぷら」は年度内に見学会をご案内する予定ですので、お待ちください。)

***電話連絡の際には、氏名、日時、人数などをお伝えください。**

将来の進路を考えるきっかけになるような有意義な夏休みになるとよいですね。